

岩槻人形博物館と城下町の史跡を巡る

担当：第2グループ

第39回史跡巡りは、「人形博物館」、「時の鐘」、「遷喬館」、「岩槻郷土資料館」などを巡る計画としました。当日は、人形のまち岩槻「まちかど雛めぐり」の実施期間中（2/22～3/8）で、古から伝わる人形などが商店に飾られています。皆様のご参加をお待ちしております。

- 岩槻人形博物館は2月22日に開館する新しい博物館で、人形や人形文化に関する資料が展示されています。
- 時の鐘は寛文11年（1671）に铸造され、城内・外に時刻を知らせていた。
- 遷喬館（せんきょうかん）は、岩槻藩に仕えていた儒者・児玉南柯により寛政11年（1799）に私塾として開校し、文化2年（1805）に藩校となる。
- 岩槻郷土資料館は「岩槻のあゆみ」や「くらしの道具」などが展示されている。資料館の建物は国の登録有形文化財となっている旧岩槻警察署庁舎である。

1. 日時：令和2年3月4日（水） 午前9時45分集合（時間厳守）

2. 集合場所：東武野田線大宮駅改札前

3. 行程

9:53 大宮駅(発) → 10:04 岩槻駅(着)

人形博物館 → 時の鐘 → 遷喬館 → 昼食場所

の順で廻ります。（それぞれの間は徒歩10分程です）

≪ 昼食は江戸時代から続く料亭「ほてい家」を予約してあります。≫

昼食後は岩槻郷土資料館 → 岩槻駅 で現地解散とします。

4. 費用 約2,500円

①交通費（往復） 400円（大宮～岩槻駅）

②入館料 150円（65歳以上）

③昼食代 1870円（ひな祭り膳）

（交通費が少額で済むため昼食は幾分高く設定しました。）

(注) 1. 悪天候が予想される場合は、連絡網にて中止連絡（小雨決行）